

第2章

資料編

1 大気関係

(1) 二酸化窒素調査結果 (調査地点は次ページ参照)

(単位: ppm)

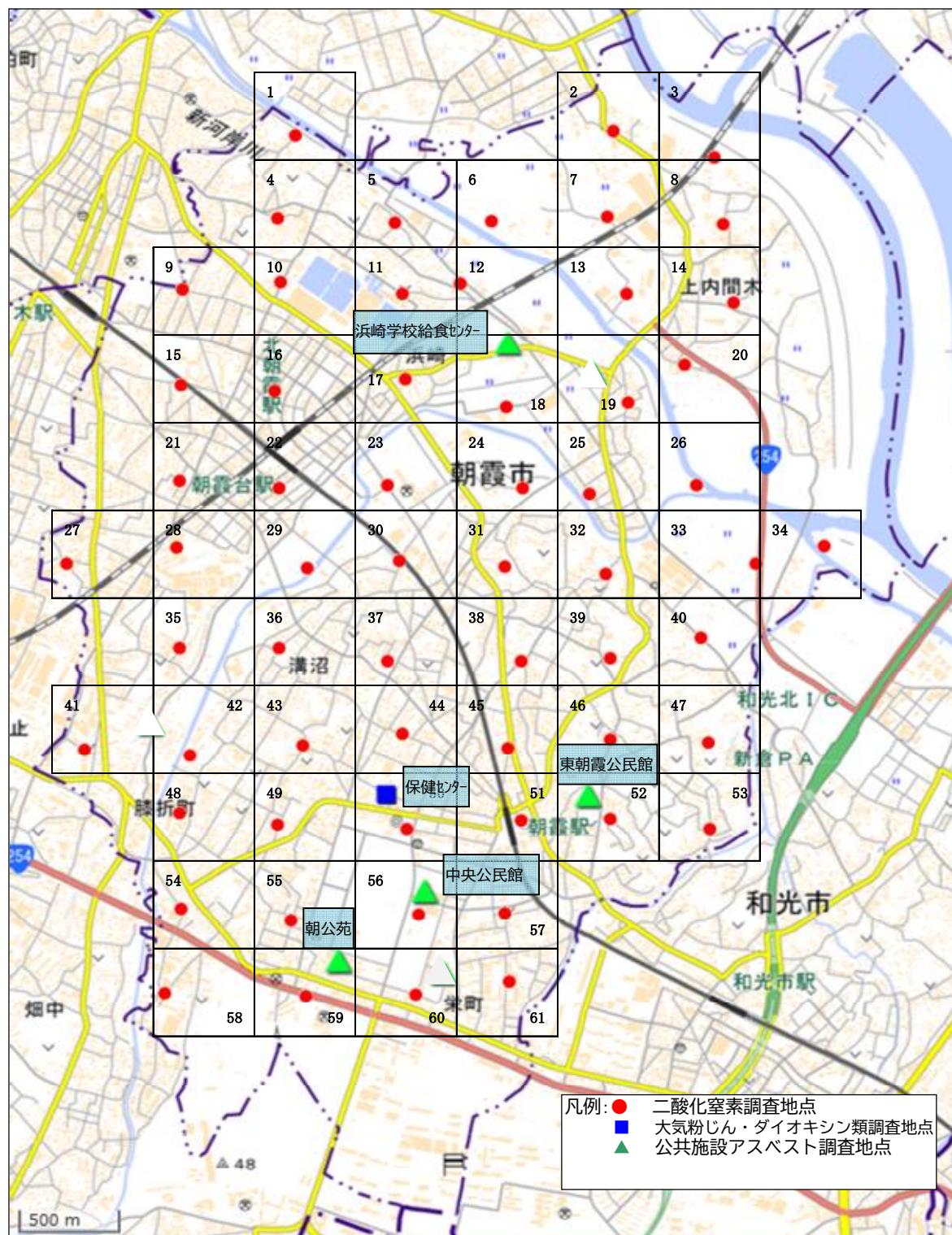
調査地点番号	R6.7.22 ~7.31	R7.1.14 ~1.20	年度平均 (令和6年度)
1	0.0070	0.0150	0.0110
2	0.0170	0.0220	0.0195
3	0.0080	0.0160	0.0120
4	0.0070	0.0130	0.0100
5	0.0080	0.0150	0.0115
6	0.0050	0.0100	0.0075
7	0.0150	0.0170	0.0160
8	0.0100	0.0130	0.0115
9	0.0070	0.0160	0.0115
10	0.0110	0.0190	0.0150
11	0.0080	0.0180	0.0130
12	0.0050	0.0150	0.0100
13	0.0110	0.0170	0.0140
14	0.0090	0.0140	0.0115
15	0.0080	0.0160	0.0120
16	0.0090	0.0170	0.0130
17	0.0090	0.0170	0.0130
18	0.0090	0.0160	0.0125
19	0.0110	0.0160	0.0135
20	0.0110	0.0180	0.0145
21	0.0080	0.0150	0.0115
22	0.0080	0.0160	0.0120
23	0.0090	0.0170	0.0130
24	0.0100	0.0170	0.0135
25	0.0090	0.0160	0.0125
26	0.0080	0.0140	0.0110
27	0.0080	0.0160	0.0120
28	0.0090	0.0180	0.0135
29	0.0070	0.0160	0.0115
30	0.0080	0.0170	0.0125
31	0.0070	0.0140	0.0105
32	0.0080	0.0160	0.0120
33	0.0090	0.0160	0.0125
34	0.0130	0.0190	0.0160
35	0.0120	0.0180	0.0150
36	0.0080	0.0170	0.0125
37	0.0090	0.0170	0.0130
38	0.0090	0.0180	0.0135
39	0.0070	0.0150	0.0110
40	0.0100	0.0180	0.0140
41	0.0070	0.0160	0.0115
42	0.0080	0.0160	0.0120
43	0.0080	0.0170	0.0125
44	0.0080	0.0170	0.0125
45	0.0090	0.0160	0.0125
46	0.0090	0.0160	0.0125
47	0.0080	0.0140	0.0110
48	0.0080	0.0160	0.0120
49	0.0090	0.0170	0.0130
50	0.0080	0.0160	0.0120
51	0.0110	0.0180	0.0145
52	0.0080	0.0160	0.0120
53	0.0090	0.0140	0.0115
54	0.0090	0.0180	0.0135
55	0.0080	0.0150	0.0115
56	0.0060	0.0150	0.0105
57	0.0080	0.0150	0.0115
58	0.0090	0.0150	0.0120
59	0.0170	0.0210	0.0190
60	0.0080	0.0150	0.0115
61	0.0070	0.0140	0.0105

平均値	0.0089	0.0162	0.0125
最高値	0.0170	0.0220	0.0195
最低値	0.0050	0.0100	0.0075

環境基準 1時間値の1日平均値が0.04から0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。

	夏	冬	年平均
0.06超 数	0	0	0
割 合	0.0%	0.0%	0.0%
0.04～0.06	0	0	0
割 合	0.0%	0.0%	0.0%
0.04未満	61	61	61
割 合	100.0%	100.0%	100.0%

＜二酸化窒素調査地点 メッシュ地図＞



二酸化窒素調査地点 周辺概要

調査地点番号	用途地域	周辺概要
1	第一種低層住居専用地域	新河岸川沿いで田畠が広がり、民家は少ない。
2	市街化調整区域	住居と工場が混在している地域で、発生源が近い。
3	市街化調整区域	荒川の土手沿いで、住宅及び倉庫等が点在している。
4	第一種中高層住居専用地域	周辺は住宅地で、北側にテニスコートがある。
5	第一種低層住居専用地域	周辺は住宅地と畠で、南側に朝霞浄水場がある。
6	市街化調整区域	新河岸川沿いで、骨材乾燥炉を含む資材置き場が点在。
7	市街化調整区域	畠や駐車場が広がり、小さな工場が並んでいる。
8	市街化調整区域	周辺は住宅地で、その周囲に田畠がある。
9	第一種中高層住居専用地域	周辺は密集した住宅地で、北西側にグランドがある。
10	第一種中高層住居専用地域	住宅地及び小さな工場と浄水場に囲まれて畠がある。
11	第一種中高層住居専用地域	周辺は畠に面した住宅地で、南西側に浄水場がある。
12	第一種住居地域	JR武蔵野線脇に広がる畠地に近い。
13	市街化調整区域	朝霞市クリーンセンターに面した道路沿いで、周囲は空き地。
14	市街化調整区域	交通量の多い道路が近い住工混在で、畠も広がっている。
15	第一種住居地域	東武東上線に面した住宅地で、北側は林となっている。
16	商業地域	住宅と畠が混在しており、北朝霞駅が近い。
17	第一種住居地域	周辺は住宅地で、近くに県道がある。
18	市街化調整区域	周辺は、畠が広がっている。
19	第一種中高層住居専用地域	周辺は住宅地で、近くに県道がある。
20	市街化調整区域	周辺は住宅地が点在し、空き地が多い地域。
21	第一種中高層住居専用地域	周辺は密集した住宅地であるが、倉庫や工場も近接。
22	第一種中高層住居専用地域	西久保公園内であり、周辺は住宅地である。
23	市街化調整区域	東側に東洋大学、西側に畠や事業所が点在している。
24	第一種低層住居専用地域	畠に囲まれた小規模な住宅地。
25	第一種中高層住居専用地域	住宅地であるが交通量の多い県道がすぐ東側を通る。
26	市街化調整区域	周辺は水道局用地があり、新河岸川と黒目川合流する。
27	第一種中高層住居専用地域	周辺は住宅地と畠等で、物流倉庫等が点在する。
28	第一種住居地域	北側が第五小学校、南側が本田技術研究所の敷地である。
29	市街化調整区域	周辺は主に畠等であり、黒目川沿いに位置する。
30	第一種住居地域	住宅地の周囲が畠で、北側に東武東上線がある。

調査地点 番号	用途地域	周辺概要
31	第一種中高層住居専用地域	周辺は住宅地となっている。
32	第一種中高層住居専用地域	高台の住宅地脇で、南北に畠が広がっている。
33	市街化調整区域	第九小学校の境界部で周囲はほとんど畠となっている。
34	市街化調整区域	畠地として利用されている川に挟まれた土地。
35	準工業地域	周辺に工場が点在するが、特に大きな発生源はない。
36	第一種中高層住居専用地域	周辺は住宅と畠が広がっている。
37	第一種住居地域	周辺は住宅地であるが、交通量の多い道路に近接する。
38	第一種中高層住居専用地域	周辺は主に住宅地となっている。
39	第一種中高層住居専用地域	児童遊園地内で、北が畠で南が住宅地に挟まれた地域。
40	工業地域	周辺は、雑木林の高台と畠に面した開けた地域。
41	工業地域	周辺は畠や倉庫が主で、大きな工場は少し離れている。
42	工業地域	北側に第一小学校がある。
43	第一種中高層住居専用地域	周辺は住宅地となっている。
44	第一種中高層住居専用地域	周辺は密集した住宅地。
45	第一種中高層住居専用地域	周辺は密集した住宅地で、県道と東武東上線が近い。
46	第一種低層住居専用地域	周辺は住宅地と畠が混在している。
47	第一種低層住居専用地域	周辺は西が住宅地、東が畠となっている。
48	工業地域	周辺は、住居と倉庫等が混在している。
49	第一種中高層住居専用地域	周辺は比較的密集した住宅地で、東に県道が通っている。
50	近隣商業地域	市役所の敷地内で、商店街や公共施設がある中心街。
51	商業地域	朝霞駅に近い東側で、周辺は駅前商店街になっている。
52	第一種低層住居専用地域	住宅地と畠が混在する地域。
53	第一種低層住居専用地域	周辺は密集する住宅地。
54	第一種住居地域	周辺は密集する住宅地で、県道と国道254号に挟まれる。
55	第一種中高層住居専用地域	周辺は密集する住宅地。
56	市街化調整区域	朝霞中央公園内に位置する。
57	第一種中高層住居専用地域	南側は住宅と印刷工場、北側は畠が広がる。
58	工業地域	周辺は住宅地と小さな工場及び畠が混在している。
59	準住居地域	平成29年2月調査までは、国道254号沿道の朝霞幸町自排局に設置していたが、平成30年5月に自排局が廃止されたため、平成30年7月調査以降は国道254号を挟んだ向かいの上の原公園のフェンスに設置。
60	第一種中高層住居専用地域	南が住宅地、北が第四中学校と市営球場になっている。
61	準工業地域	周辺は住宅地となっている。

令和7年3月31日現在

(2) 大気粉じん調査結果 実施日 (夏季) 7月23日～24日 (冬期) 1月21日～22日

項目	調査地点	単位	夏季	冬季	平均	基準値
浮遊粉じん量	保健センター	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	42	29	36	—
亜鉛		ng/m^3	59	45	52	—
総クロム		ng/m^3	3.50	0.49	2.00	—
力ドミウム		ng/m^3	0.099	0.110	0.100	—
鉛		ng/m^3	8.0	6.9	7.5	—
ニッケル		ng/m^3	5.00	1.20	3.10	25以下
バナジウム		ng/m^3	2.90	0.77	1.80	—
アスベスト		f/l	0.110	0.056未満	0.083	10以下

(3) 公共施設アスベスト調査結果 (無機質繊維濃度)

調査地点	実施日	敷地境界北側	敷地境界東側	敷地境界南側	敷地境界西側	基準値
中央公民館	12月19日	0.056未満	0.056未満	0.17	0.056未満	10f/L以下
東朝霞公民館	12月20日	0.056	0.056	0.056未満	0.056	
浜崎学校給食センター	12月19日	0.056未満	0.056未満	0.11	0.056未満	
朝光苑	12月20日	0.056未満	0.056	0.056未満	0.056未満	

(4) ダイオキシン類調査結果 (大気)

調査地点	実施日	単位	夏季	冬季	年平均値	環境基準
保健センター	(夏季) 7月23日 ～ 7月30日 (冬期) 1月21日 ～ 1月28日	$\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$	0.0077	0.013	0.010	年平均値 0.6 以下

(5) 常時監視測定結果 (埼玉県実施調査)

大気汚染常時監視測定局 ※○のついているものが、その測定局で測定している項目

項目	測定局名		一般環境大気測定局	自動車排出ガス測定局
	和光	新座	和光新倉	
二酸化硫黄	—	○	—	
一酸化炭素	—	—	—	
浮遊粒子状物質	○	○	○	
光化学オキシダント	○	○	—	
二酸化窒素	○	○	○	
微小粒子状物質	○	○	○	
風向・風速	○	○	○	

令和6年度環境基準達成状況

※○は環境基準達成 ×は非達成 −は未実施

測定局名	二酸化硫黄		一酸化炭素		浮遊粒子状物質		光化学オキシダント	二酸化窒素
	短期	長期	短期	長期	短期	長期	環境基準	環境基準
和光	−	−	−	−	○	○	×	○
新座	○	○	−	−	×	○	×	○
和光新倉	−	−	−	−	○	○	−	○

測定局名	微小粒子状物質	
	短期	長期
和光	○	○
新座	○	○
和光新倉	○	○

二酸化硫黄の年平均値の経年変化

(単位: ppm)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新 座	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001

二酸化硫黄の1日平均値の2%除外値の経年変化

(単位: ppm)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新 座	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002

(環境基準の評価)

浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化

(単位: mg/m³)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
和 光	0.017	0.015	0.016	0.016	0.016
新 座	0.015	0.014	0.015	0.016	0.016
和光新倉	0.016	0.014	0.016	0.015	0.016

浮遊粒子状物質の1日平均値の2%除外値の経年変化

(単位: mg/m³)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
和 光	0.040	0.030	0.033	0.035	0.034
新 座	0.036	0.028	0.033	0.035	0.039
和光新倉	0.040	0.029	0.033	0.035	0.042

(環境基準の評価)

光化学オキシダントの昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数の経年変化

(単位: 時間)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
和 光	347	350	330	372	468
新 座	287	315	358	358	569

二酸化窒素の年平均値の経年変化

(単位: ppm)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
和 光	0.014	0.014	0.013	0.012	0.012
新 座	0.013	0.012	0.012	0.011	0.011
和光新倉	0.017	0.016	0.016	0.014	0.014

二酸化窒素の1日平均値の年間9.8%値の経年変化

(単位: ppm)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
和 光	0.032	0.030	0.030	0.030	0.028
新 座	0.031	0.027	0.028	0.028	0.026
和光新倉	0.033	0.031	0.030	0.031	0.029

(環境基準の評価)

微小粒子状物質の年平均値の経年変化

(単位: μg/m³)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
和 光	10.8	9.6	10.4	10.2	10.1
新 座	11.0	9.1	10.4	10.4	10.3
和光新倉	10.7	9.4	10.3	9.8	9.8

(環境基準の評価)

微小粒子状物質の1日平均値の年間9.8%値の経年変化

(単位: μg/m³)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
和 光	26.4	20.3	20.7	22.4	23.3
新 座	27.5	18.0	20.4	23.0	23.2
和光新倉	28.1	19.2	20.7	21.5	21.8

(環境基準の評価)

大気汚染に係る環境基準

物質	環境上の条件
二酸化硫黄	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ1時間値が0.1ppm以下であること。
一酸化炭素	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。
浮遊粒子状物質	1時間値の1日平均値が0.1mg/m ³ 以下であり、かつ1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。
光化学オキシダント	1時間値が0.06ppm以下であること。
二酸化窒素	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
微小粒子状物質	1年平均値が15μg/m ³ 以下であり、かつ1日平均値が35μg/m ³ 以下であること。

環境基準による大気汚染の評価

(1) 短期的評価 (昭和48年 6月12日環大企第143号より抜粋)

二酸化硫黄等の大気汚染の状態を環境基準にてらして短期的に評価する場合は、連続してまたは随時に行つた測定結果により、測定を行つた日または時間についてその評価を行う。この場合、地域の汚染の実情、濃度レベルの時間的変動等にてらし、異常と思われる測定値が得られた際ににおいては、測定器の維持管理状況、気象条件、発生源の状況等について慎重に検討を加え、当該測定値が測定器に起因する場合等、地域の大気汚染の状況を正しく反映していないと認められる場合には、当然評価対象としない。なお、1日平均値の評価にあたっては、1時間値の欠測（上記の評価対象としない測定値を含む。）が1日（24時間）のうち4時間を超える場合には、評価対象としない。

(2) 長期的評価 (昭和48年 6月12日環大企第143号より抜粋)

本環境基準による評価は、当該地域の大気汚染に対する施策の効果等を適確に判断するうえからは、年間にわたる測定結果を長期的に観察したうえで評価を行うことが必要であるが、現在の測定体制においては測定精度に限界があること、測定時間、日における特殊事情が直接反映されること等から、次の方法により長期的評価を実施する。1日平均値である測定値〔(1)の評価対象としない測定値を除く。〕につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるもの（365日分の測定値がある場合は7日分の測定値）を除外して評価を行う。ただし、1日平均値につき環境基準を超える日が2日以上連続した場合には、このような取扱いは行わない。

(3) 98パーセント値評価 (昭和53年 7月17日環大企第262号より抜粋)

二酸化窒素の環境基準による大気汚染の評価については、測定局ごとに行うものとし、年間における二酸化窒素の1日平均値のうち、低い方から98%に相当するもの（以下「1日平均値の年間98%値」という。）が0.06ppm以下の場合は環境基準が達成され、0.06ppmを超える場合は達成されていないものと評価する。なお、1時間値の欠測が4時間を超える測定日の1日平均値は用いない。また、年間における測定時間が6,000時間に満たない測定局については、評価の対象としない。

※二酸化窒素濃度が経年的に高い地点は、自動車等の交通量の多い国道254号線などの道路沿線であり、交通渋滞のほか、右折や信号待ちしている車両からの排出ガスの影響を受けていることが考えられます。本市では、主要道路で交通量調査を実施する一方、「広報あさか」を通じて、自動車利用の自粛や自転車及び公共交通機関の利用促進、アイドリング・ストップなどの協力を市民や事業者に呼びかけています。

2 水質関係

(1) 河川水質調査結果【生活環境項目調査地点】(調査地点はP.99参照)

項目		単位	A地点 新河岸川上流	(新宮戸橋付近)	<C類型>	平均値
採水年月日	—	—	R06.06.25	R06.08.22	R06.12.11	R07.02.20
天候	—	—	晴	曇	晴	晴
気温	℃	—	30.2	26.5	16.8	6.9
水温	℃	—	24.4	25.7	14.4	12.4
透視度	cm	—	58.0	100以上	100以上	85.0
流量	m³/s	—	30.2	16.0	14.1	7.1
生活性環境項目	pH	—	7.2	7.2	7.5	7.3
	DO	mg/L	7.8	6.8	11.1	8.2
	BOD	mg/L	0.9	1.1	1.2	1.3
	SS	mg/L	7	6	4	1
	全垂鉛	mg/L	0.012	0.021	0.024	0.026
	ノニルフェノール	mg/L	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満
	直鎖剤剤ハニセンスルホン酸塩	mg/L	0.0006未満	0.0006未満	0.0009	0.0012
	BOD負荷量	g/s	27.18	17.60	16.92	9.23
項目一般	大腸菌群数	MPN/100ml	33000	350000	130000	350000
	大腸菌数	CFU/100ml	580	11000	1500	1200
						3600

項目		単位	C地点 黒目川上流	(大橋付近)	<C類型>	平均値
採水年月日	—	—	R06.06.25	R06.08.22	R06.12.11	R07.02.20
天候	—	—	曇	晴	晴	晴
気温	℃	—	31.1	30.5	9.5	9.5
水温	℃	—	23.3	25.3	14.8	12.5
透視度	cm	—	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上
流量	m³/s	—	1.7	1.8	1.3	0.45
生活性環境項目	pH	—	7.5	7.4	8.2	7.9
	DO	mg/L	8.7	9.4	13.6	12.5
	BOD	mg/L	0.5未満	0.7	0.9	0.8
	SS	mg/L	1	2	2	1未満
	全垂鉛	mg/L	0.008	0.028	0.013	0.006
	ノニルフェノール	mg/L	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満
	直鎖剤剤ハニセンスルホン酸塩	mg/L	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0017
	BOD負荷量	g/s	0.85	1.26	1.17	0.36
項目一般	大腸菌群数	MPN/100ml	28000	23000	17000	790
	大腸菌数	CFU/100ml	420	2000	400	50
						720

項目		単位	D地点 黒目川中流	(東林橋付近)	<C類型>	平均値
採水年月日	—	—	R06.06.25	R06.08.22	R06.12.11	R07.02.20
天候	—	—	曇	晴	晴	晴
気温	℃	—	28.5	30.9	7.0	6.0
水温	℃	—	23.5	24.1	13.5	12.9
透視度	cm	—	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上
流量	m³/s	—	1.90	2.10	1.40	0.74
生活性環境項目	pH	—	7.6	7.7	8.2	8.1
	DO	mg/L	8.5	9.7	15.8	13.2
	BOD	mg/L	0.5未満	0.5	0.9	0.9
	SS	mg/L	1	1	4	3
	全垂鉛	mg/L	0.009	0.010	0.006	0.009
	ノニルフェノール	mg/L	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満
	直鎖剤剤ハニセンスルホン酸塩	mg/L	0.0006未満	0.0006未満	0.0017	0.0020
	BOD負荷量	g/s	0.95	1.05	1.26	0.67
項目一般	大腸菌群数	MPN/100ml	23000	11000	4900	1300
	大腸菌数	CFU/100ml	3900	740	500	440
						1400

項目		単位	F地点 越戸川上流	(越戸橋付近)	<指定なし>	平均値
採水年月日	—	—	R06.06.25	R06.08.22	R06.12.11	R07.02.20
天候	—	—	曇	曇	晴	晴
気温	℃	—	32.0	28.0	10.0	7.0
水温	℃	—	25.2	23.3	15.7	14.3
透視度	cm	—	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上
流量	m³/s	—	0.18	0.14	0.20	0.05
生活性環境項目	pH	—	7.6	7.1	7.7	7.6
	DO	mg/L	9.2	9.5	12.7	11.6
	BOD	mg/L	0.5未満	0.8	1.7	1.5
	SS	mg/L	1未満	3	1未満	7
	全垂鉛	mg/L	0.013	0.018	0.018	0.012
	ノニルフェノール	mg/L	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満
	直鎖剤剤ハニセンスルホン酸塩	mg/L	0.0006未満	0.0006未満	0.0006	0.0015
	BOD負荷量	g/s	0.09	0.11	0.34	0.08
項目一般	大腸菌群数	MPN/100ml	13000	79000	3300	4900
	大腸菌数	CFU/100ml	540	1800	360	1000
						930

河川水質調査結果【生活環境・健康・要監視・一般項目調査地点】(調査地点はP09参照)

項目	単位	B地点	新河岸川下流	(旧内間木橋付近)	< C類型 >	平均値
採水年月日	—	R06.06.25	R06.08.22	R06.12.11	R07.02.20	—
天候	—	曇	曇	晴	晴	—
気温	℃	31.2	28.9	17.0	9.0	—
水温	℃	25.0	25.2	14.9	12.3	—
透視度	cm	50.0	100以上	100以上	80.0	82.5
流量	m ³ /s	42.5	31.1	2.7	13.6	22.5
生活性境項目						
pH	—	7.3	7.1	7.2	7.3	7.2
D O	mg/L	8.1	7.2	9.5	8.8	8.4
BOD	mg/L	1.1	1.1	1.3	1.1	1.2
SS	mg/L	12	4	2	1	5
全亜鉛	mg/L	0.012	0.019	0.028	0.024	0.021
ノニルフェノール	mg/L	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/L	0.0006未満	0.0006	0.0017	0.0018	0.0012
項目一般						
大腸菌群数	MPN/100ml	13000	240000	130000	13000	100000
大腸菌数	CFU/100ml	480	10000	1100	760	3100
BOD負荷量	g/s	46.75	34.21	3.51	14.96	24.86
健						
カドミウム	mg/L	0.0003 未満	—	0.0003 未満	—	0.0003 未満
全シアン	mg/L	不検出	—	不検出	—	不検出
鉛	mg/L	0.001未満	—	0.001未満	—	0.001未満
六価クロム	mg/L	0.005 未満	—	0.005 未満	—	0.005 未満
砒素	mg/L	0.001未満	—	0.001 未満	—	0.001未満
総水銀	mg/L	0.0005 未満	—	0.0005 未満	—	0.0005 未満
アルキル水銀	mg/L	不検出	—	不検出	—	不検出
P C B	mg/L	不検出	—	不検出	—	不検出
ジクロロメタン	mg/L	0.002 未満	—	0.002未満	—	0.002 未満
四塩化炭素	mg/L	0.0002 未満	—	0.0002 未満	—	0.0002 未満
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.0004 未満	—	0.0004 未満	—	0.0004 未満
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.01 未満	—	0.01 未満	—	0.01 未満
ジ-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.004 未満	—	0.004 未満	—	0.004 未満
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.1 未満	—	0.1 未満	—	0.1 未満
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.0006 未満	—	0.0006 未満	—	0.0006 未満
トリクロロエチレン	mg/L	0.001 未満	—	0.001 未満	—	0.001 未満
テトラクロロエチレン	mg/L	0.001 未満	—	0.001 未満	—	0.001 未満
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	0.0002 未満	—	0.0002 未満	—	0.0002 未満
チラム	mg/L	0.0006 未満	—	0.0006 未満	—	0.0006 未満
シマジン	mg/L	0.0003 未満	—	0.0003 未満	—	0.0003 未満
チオベンカルブ	mg/L	0.002 未満	—	0.002 未満	—	0.002 未満
ベンゼン	mg/L	0.001 未満	—	0.001 未満	—	0.001 未満
セレン	mg/L	0.001 未満	—	0.001 未満	—	0.001 未満
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	2.5	—	6.3	—	4.4
フッ素	mg/L	0.09	—	0.08 未満	—	0.09
ほう素	mg/L	0.1 未満	—	0.1 未満	—	0.1 未満
1,4-ジオキサン	mg/L	0.005 未満	—	0.005 未満	—	0.005 未満
要						
クロロホルム	mg/L	0.006 未満	—	—	—	0.006 未満
トラン-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.004 未満	—	—	—	0.004 未満
1,2-ジクロロプロパン	mg/L	0.006 未満	—	—	—	0.006 未満
p-ジクロロベンゼン	mg/L	0.02 未満	—	—	—	0.02 未満
イソキサチオノ	mg/L	0.0008 未満	—	—	—	0.0008 未満
ダイアジノン	mg/L	0.0005 未満	—	—	—	0.0005 未満
フェニトロチオノ	mg/L	0.0003 未満	—	—	—	0.0003 未満
イソプロチオラン	mg/L	0.004 未満	—	—	—	0.004 未満
オキシン銅	mg/L	0.004 未満	—	—	—	0.004 未満
クロロタロニル	mg/L	0.005 未満	—	—	—	0.005 未満
プロビサミド	mg/L	0.0008 未満	—	—	—	0.0008 未満
E P N	mg/L	0.0006 未満	—	—	—	0.0006 未満
ジクロルボス	mg/L	0.0008 未満	—	—	—	0.0008 未満
フェノブカルブ	mg/L	0.003 未満	—	—	—	0.003 未満
イブロベンホス	mg/L	0.0008 未満	—	—	—	0.0008 未満
クロルニトロフェン	mg/L	0.0005 未満	—	—	—	0.0005 未満
トルエン	mg/L	0.06 未満	—	—	—	0.06 未満
キシレン	mg/L	0.04 未満	—	—	—	0.04 未満
フタル酸ジエチルヘキシル	mg/L	0.006 未満	—	—	—	0.006 未満
ニッケル	mg/L	0.001	—	—	—	0.001
モリブデン	mg/L	0.007 未満	—	—	—	0.007 未満
アンチモン	mg/L	0.002 未満	—	—	—	0.002 未満
塩化ビニルモノマー	mg/L	0.0002 未満	—	—	—	0.0002 未満
エピクロロヒドリン	mg/L	0.00004 未満	—	—	—	0.00004 未満
全マンガン	mg/L	0.04	—	—	—	0.04
ウラン	mg/L	0.0002 未満	—	—	—	0.0002 未満
監視項目						
— 96 —						

河川水質調査結果【生活環境・健康・要監視・一般項目調査地点】(調査地点はP. 99参照)

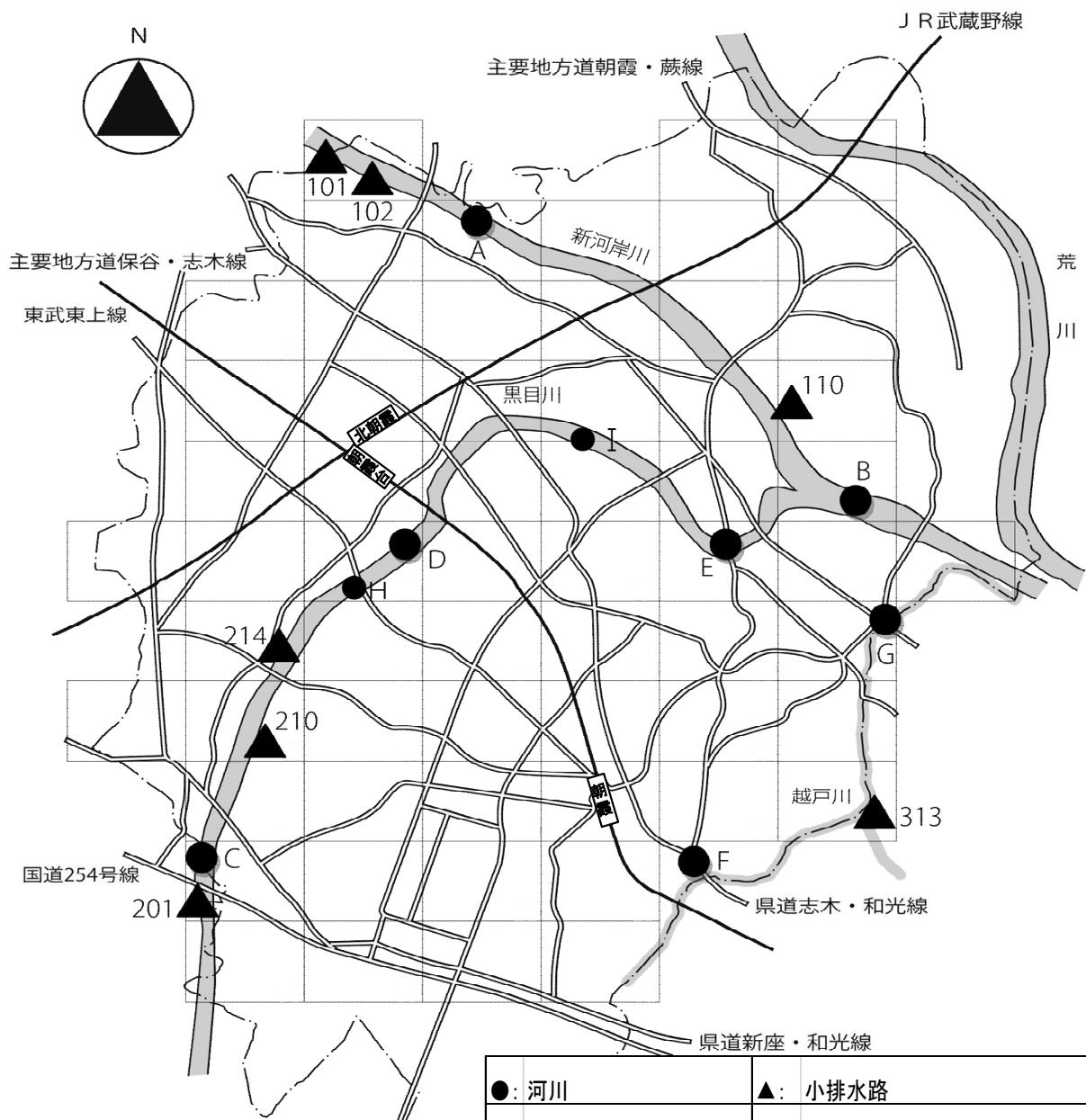
項目	単位	G地点	越戸川下流	(東和橋付近)	<指定なし>	平均値
採水年月日	—	R06.06.25	R06.08.22	R06.12.11	R07.02.20	—
天候	—	曇	曇	晴	晴	—
気温	℃	31.0	25.8	16.0	7.0	—
水温	℃	22.1	24.2	13.4	11.3	—
透視度	cm	100以上	75.0	100以上	100以上	93.8
流量	m³/s	0.32	0.43	0.22	0.11	0.27
生活性環境項目						
pH	—	7.2	7.3	7.5	7.6	7.4
DO	mg/L	9.4	8.6	15.2	13.9	11.8
BOD	mg/L	0.5	1.2	0.7	0.9	0.8
SS	mg/L	1未満	2	1未満	1	1
全亜鉛	mg/L	0.019	0.012	0.013	0.008	0.013
ノニルフェノール	mg/L	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/L	0.0006未満	0.0006未満	0.0006	0.0006未満	0.0006
項目一般						
大腸菌群数	MPN/100ml	11000	130000	7000	7900	39000
大腸菌数	CFU/100ml	1200	5000	200	160	1600
BOD負荷量	g/s	0.16	0.52	0.15	0.10	0.23
健康項目						
カドミウム	mg/L	0.0003 未満	—	0.0003 未満	—	0.0003 未満
全シアン	mg/L	不検出	—	不検出	—	不検出
鉛	mg/L	0.001 未満	—	0.001 未満	—	0.001 未満
六価クロム	mg/L	0.005 未満	—	0.005 未満	—	0.005 未満
砒素	mg/L	0.001 未満	—	0.001 未満	—	0.001 未満
総水銀	mg/L	0.0005 未満	—	0.0005 未満	—	0.0005 未満
アルキル水銀	mg/L	不検出	—	不検出	—	不検出
PCB	mg/L	不検出	—	不検出	—	不検出
ジクロロメタン	mg/L	0.002 未満	—	0.002 未満	—	0.002 未満
四塩化炭素	mg/L	0.0002 未満	—	0.0002 未満	—	0.0002 未満
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.0004 未満	—	0.0004 未満	—	0.0004 未満
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.01 未満	—	0.01 未満	—	0.01 未満
ジ-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.004 未満	—	0.004 未満	—	0.004 未満
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.1 未満	—	0.1 未満	—	0.1 未満
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.0006 未満	—	0.0006 未満	—	0.0006 未満
トリクロロエチレン	mg/L	0.001 未満	—	0.001 未満	—	0.001 未満
テトラクロロエチレン	mg/L	0.001 未満	—	0.001 未満	—	0.001 未満
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	0.0002 未満	—	0.0002 未満	—	0.0002 未満
チラム	mg/L	0.0003 未満	—	0.0006 未満	—	0.0006 未満
シマジン	mg/L	0.0003 未満	—	0.0003 未満	—	0.0003 未満
チオベンカルブ	mg/L	0.002 未満	—	0.002 未満	—	0.002 未満
ベンゼン	mg/L	0.001 未満	—	0.001 未満	—	0.001 未満
セレン	mg/L	0.001 未満	—	0.001 未満	—	0.001 未満
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	3.7	—	3.9	—	3.8
フッ素	mg/L	0.08 未満	—	0.08 未満	—	0.08 未満
ほう素	mg/L	0.1 未満	—	0.1 未満	—	0.1 未満
1,4-ジオキサン	mg/L	0.005 未満	—	0.005 未満	—	0.005 未満
要監視項目						
クロロホルム	mg/L	0.006 未満	—	—	—	0.006 未満
トクス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.004 未満	—	—	—	0.004 未満
1,2-ジクロロプロパン	mg/L	0.006 未満	—	—	—	0.006 未満
p-ジクロロベンゼン	mg/L	0.02 未満	—	—	—	0.02 未満
イソキサチオノン	mg/L	0.0008 未満	—	—	—	0.0008 未満
ダイアジノン	mg/L	0.0005 未満	—	—	—	0.0005 未満
フェニトロチオノン	mg/L	0.0003 未満	—	—	—	0.0003 未満
イソプロチオラン	mg/L	0.004 未満	—	—	—	0.004 未満
オキシン銅	mg/L	0.004 未満	—	—	—	0.004 未満
クロロタロニル	mg/L	0.005 未満	—	—	—	0.005 未満
プロビザミド	mg/L	0.0008 未満	—	—	—	0.0008 未満
EPN	mg/L	0.0008 未満	—	—	—	0.0006 未満
ジクロルボス	mg/L	0.0008 未満	—	—	—	0.0008 未満
フェノブカルブ	mg/L	0.003 未満	—	—	—	0.003 未満
イプロベンホス	mg/L	0.0008 未満	—	—	—	0.0008 未満
クロロニトロフェン	mg/L	0.0005 未満	—	—	—	0.0005 未満
トルエン	mg/L	0.06 未満	—	—	—	0.06 未満
キシレン	mg/L	0.04 未満	—	—	—	0.04 未満
フタル酸ジエチルヘキシリ	mg/L	0.006 未満	—	—	—	0.006 未満
ニッケル	mg/L	0.001 未満	—	—	—	0.001 未満
モリブデン	mg/L	0.007 未満	—	—	—	0.007 未満
アンチモン	mg/L	0.002 未満	—	—	—	0.002 未満
塩化ビニルモノマー	mg/L	0.0002 未満	—	—	—	0.0002 未満
エピクロロヒドリン	mg/L	0.00004 未満	—	—	—	0.00004 未満
全マンガン	mg/L	0.02 未満	—	—	—	0.02 未満
ウラン	mg/L	0.0002 未満	—	—	—	0.0002 未満

河川水質調査結果【追加項目調査地点】 (調査地点はP. 99参照)

項目	単位	追加項目調査地点 黒目川上流 (新高橋付近 左岸) <C類型>		平均値
採水年月日	-	R06. 08. 22	R06. 12. 11	-
天 候	-	曇	晴	-
気 温	℃	30.5	9.0	-
水 温	℃	23.6	14.4	-
追加項目	化学的酸素要求量 (COD)	mg/L	0.9	1.8
	ふん便性大腸菌群数	CFU/100ml	1900	400
				1200

項目	単位	追加項目調査地点 黒目川上流 (朝霞市総合福祉センター付近 左岸) <C類型>		平均値
採水年月日	-	R06. 08. 22	R06. 12. 11	-
天 候	-	曇	晴	-
気 温	℃	31.5	12.5	-
水 温	℃	24.0	7.0	-
追加項目	化学的酸素要求量 (COD)	mg/L	1.2	1.5
	ふん便性大腸菌群数	CFU/100ml	10000	500
				5300

<河川調査・小排水路調査地点 メッシュ地図>



●: 河川	▲: 小排水路
A: 新宮戸橋付近	101: 新河岸川(右岸)田子山樋管
B: 旧内間木橋付近	102: 新河岸川(右岸)宮戸3丁目付近
C: 大橋付近	110: 新河岸川(左岸)内間木排水機場付近
D: 東林橋付近	201 黒目川(左岸)新座大橋付近
E: 笹橋付近	210: 黒目川(右岸)北浦待機宿舎付近
F: 越戸橋付近	214: 黒目川(左岸)泉橋付近
G: 東和橋付近	313: 越戸川(右岸)谷中川合流点
H: 新高橋付近	
I: 総合福祉センター付近	

※河川E地点(笹橋付近)は、付近の東橋で県による調査が実施されているため、23年度から市による調査は実施しておりません。

(参考) 埼玉県公共用水域の水質測定結果【生活環境項目】

黒目川下流 (東橋付近)

(令和6年度)

項目	単位	平均値
生活環境項目	pH	7.7
	D0	mg/L 11.0
	BOD	mg/L 1.7
	COD	mg/L 2.8
	SS	mg/L 11
	大腸菌数	CFU/100ml 1,900
	全窒素	mg/L 4.6
	全リン	mg/L 0.033
	全亜鉛	mg/L 0.015
	ノニルフェノール	mg/L 0.00006
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/L 0.0039

※健康項目、要監視項目、一般項目は、まだ公表されていないため、未掲載。

生活環境の保全に関する環境基準（生活環境項目）

水質汚濁に係る環境基準のうち、人の生活に關係する最も基本的な水質項目です。

昭和46年12月28日環境庁告示第59号

令和3年10月7日環境省告示第62号改正

類型	利用目的の適応性	生活環境項目基準値				
		水素イオン濃度(pH)	生物化学的酸素要求量(BOD)	浮遊物質量(SS)	溶存酸素量(DO)	大腸菌数
AA	水道1級 自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25mg/L 以下	7.5mg/L 以上	20CFU/ 100ml以下
A	水道2級 水産1級 水浴及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2 mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	300CFU / 100ml以下
B	水道3級 水産2級 及びC以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3 mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	1,000CFU / 100ml以下
C	水産3級 工業用水1級 及びD以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5 mg/L 以下	50 mg/L 以下	5 mg/L 以上	—
D	工業用水2級 農業用水及びEの欄に掲げるもの	6.0以上 8.5以下	8 mg/ドツル 以下	100 mg/L 以下	2 mg/L 以上	—
E	工業用水3級 環境保全	6.0以上 8.5以下	10mg/ドツル 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/L 以上	—

※新河岸川はC類型（平成25年3月26日埼玉県告示）、黒目川はC類型（平成15年3月28日埼玉県告示）に指定され、越戸川は無指定である。

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	生活環境項目基準値		
		全亜鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L 以下	0.001mg/L 以下	0.03mg/L 以下
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L 以下	0.0006mg/L 以下	0.02mg/L 以下
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L 以下	0.002mg/L 以下	0.05mg/L 以下
生物特B	生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L 以下	0.002mg/L 以下	0.04mg/L 以下

※新河岸川、黒目川は生物B類型（平成20年12月16日埼玉県告示）に指定され、越戸川は無指定である。

人の健康の保護に関する環境基準（健康項目）

人の健康の保護に関する環境基準で指定されている項目で、水質汚濁物質の中でも特に有害性の強いものです。

昭和46年12月28日環境庁告示第59号
令和3年10月7日環境省告示第62号改正

健 康 項 目	基 準 値	健 康 項 目	基 準 値
カドミウム	0.003mg/L以下	1,1,1-トリクロロエタン	1 mg/L以下
全シアン	検出されないこと	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下
鉛	0.01mg/L以下	トリクロロエチレン	0.01mg/L以下
六価クロム	0.02mg/L以下	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下
砒素	0.01mg/L以下	1,3-ジクロロプロパン	0.002mg/L以下
総水銀	0.0005mg/L以下	チウラム	0.006mg/L以下
アルキル水銀	検出されないこと	シマジン	0.003mg/L以下
P C B	検出されないこと	チオベンカルブ	0.02mg/L以下
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	ベンゼン	0.01mg/L以下
四塩化炭素	0.002mg/L以下	セレン	0.01mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下	ふつ素	0.8mg/L以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	ほう素	1 mg/L以下
		1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下

※基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。

要監視項目及び指針値（要監視項目）

健康の保護に関連する物質ではあるものの検出状況等からみて、現時点では環境基準項目とはせず、引き続きデータの集積に努めるべきと判断されているものです。

平成5年3月8日環水管第21号、

平成21年11月30日環水大水発第091130004号、環水大土発第091130005号、令和2年5月28日環水大水発第2005281号、環水大水発第2005282号改正

要監視項目	指針値	要監視項目	指針値
クロロホルム	0.06mg/L以下	フェノブカルブ	0.03mg/L以下
トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	イプロベンホス	0.008mg/L以下
1,2-ジクロロプロパン	0.06mg/L以下	クロルニトロフェン	—
p-ジクロロベンゼン	0.2mg/L以下	トルエン	0.6mg/L以下
イソキサチオン	0.008mg/L以下	キシレン	0.4mg/L以下
ダイアジノン	0.005mg/L以下	フタル酸ジエチルヘキシル	0.06mg/L以下
フェニトロチオン	0.003mg/L以下	ニッケル	—
イソプロチオラン	0.04mg/L以下	モリブデン	0.07mg/L以下
オキシン銅	0.04mg/L以下	アンチモン	0.02mg/L以下
クロロタロニル	0.05mg/L以下	塩化ビニルモノマー	0.002mg/L以下
プロピザミド	0.008mg/L以下	エピクロロヒドリン	0.0004mg/L以下
E P N	0.006mg/L以下	全マンガン	0.2mg/L以下
ジクロルボス	0.008mg/L以下	ウラン	0.002mg/L以下
		ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸 (PFOA)	0.00005mg/L以下 (暫定) ※

※PFOS及びPFOAの指針値（暫定）については、PFOA及びPFOAの合計値とする。

水浴場水質判定基準（追加項目）

水浴場は、人と水が触れあう場として最も親しまれている水環境の一つであり、地域の個性を作っているとともに自然の水環境の一部を構成する重要な水辺でもあります。評価項目は、環境基準健康項目が達成されていることを前提として、4項目（化学的酸素要求量、ふん便性大腸菌群数など）を評価することとしています。

引用元：環境省

区分	化学的酸素要求量 (COD)	ふん便性大腸菌群数	油膜の有無	透明度
適	水質AA	2mg/L以下	不検出 (検出限界2個/100ml)	油膜が認められない 全透 (または1m以上)
	水質A	2mg/L以下	100個/100ml以下	油膜が認められない 全透 (または1m以上)
可	水質B	5mg/L以下	400個/100ml以下	常時は油膜が認められない 1m未満～50cm以上
	水質C	8mg/L以下	1,000個/100ml以下	常時は油膜が認められない 1m未満～50cm以上
不適	8mg/L超	1,000個/100ml を超えるもの	常時油膜が認められる	50cm未満

※市内の河川は水浴場として指定されていません。

河川・小排水路調査の結果（補足）

○河川調査のpHの不適合について

黒目川（中流）東林橋付近において、2月の調査で環境基準の超過がありました。

（pH8.7 ※環境基準は6.5以上8.5以下）

原因については、周囲の小排水路からの流入水の影響が考えられます。

次年度以降も、継続して調査を行い経過観察をしていくとともに、毎月パックテスト等による簡易水質調査を行い、水質状況の把握に努めます。

○黒目川のふん便性大腸菌群数について

黒目川をはじめ市内の河川に水浴場はありません。一方、黒目川は水に親しむ人も多いことから、黒目川2地点（新高橋付近、朝霞市総合福祉センター付近）で年2回（8月、12月）水浴場水質判定基準を参考にした水質調査を行っています。令和6年度の調査結果は、8月において2地点とも「不適」となりました。市では、水に親しむ機会の増える小中学校の夏休み時期に合わせ、令和7年7月にSNSで、水難事故の啓発とあわせて「水遊びの後は手洗い等をする」等の情報発信を行いました。

なお、基準値を超える年、超えない年があるため、次年度以降も、継続して調査を行い、経過観察をします。

○小排水路調査の5項目（pH、BOD、DO、全亜鉛、LAS）の不適合について

小排水路の水質に環境基準は適用されませんが、参考のため流入先の基準値を準用した場合、新河岸川の小排水路がBOD、DO、全亜鉛、LASについて、黒目川の小排水路がBOD、全亜鉛について、越戸川の小排水路がpHについて基準を超過しました。

それらの原因是、工場排水や生活排水などの影響を受けているものと推察されます。特に新河岸川と黒目川に流入する小排水路では流量が少ないため、負荷量は小さく、小排水路の汚濁が直ちに河川へ影響するとは考えにくいものとなっています。しかしながら、河川の環境維持のためには、次年度以降も、継続して調査を行い経過観察をしていくとともに、毎月パックテスト等による簡易水質調査を行い、水質状況の把握に努めます。

○地下水調査について

地下水調査については、1地点、テトラクロロエチレンが基準超過している井戸があり、平成18年度以前から継続して調査してきましたが、令和6年度に建物の解体に伴い、井戸を閉じたことにより、調査地点でなくなりました。そのため、令和6年度は、全地点で基準適合となりました。

PFOS・PFOA検査について

有機フッ素化合物（P F A S・ピーファス）の代表的な物質であるPFOS（ピーフオス）及びPFOA（ピーフォア）の水質検査について、河川は、埼玉県において、黒目川（1地点）、新河岸川（志木市と和光市内各1地点）で実施しており、埼玉県のホームページで公表しております。

採取地点			令和5年度	令和4年度	令和3年度
河川名	地点名	所在地			
黒目川	東橋	朝霞市	18ng/L	17ng/L	17ng/L
新河岸川	笹目橋	和光市 板橋区	10ng/L	25ng/L	17ng/L
新河岸川	いろは橋	志木市	22ng/L	24ng/L	23ng/L

※令和6年度結果はまだ公表されていないため、未掲載。埼玉県ホームページより抜粋

また、水道事業では、令和2年度から年1回、8月に水道管の末端となる公園の給水栓2箇所で実施しており、令和6年度から浄水4箇所、原水8箇所で年5回実施しており、国が定める暫定目標値を下回っています。

【PFOS及びPFOA検査結果】

	採取地点		令和6年度	令和5年度	令和4年度
	地点名	住所	浄水2月17日 原水2月20日	8月17日	8月15日
浄水	宮戸児童遊園地	宮戸3丁目	5ng/L未満	—	5ng/L未満
	やつじ公園	宮戸3丁目	—	5ng/L未満	—
	やつるぎ児童遊園地	上内間木	5ng/L未満	5ng/L未満	5ng/L未満
	緑ヶ丘児童遊園地	幸町2丁目	—	—	—
	泉水浄水場内出口	泉水2丁目	5ng/L未満	—	—
	岡浄水場内出口	岡2丁目	5ng/L未満	—	—
原水	3号取水井	岡2丁目	5ng/L未満	—	—
	4号取水井	岡1丁目	5ng/L未満	—	—
	5号取水井	岡2丁目	5ng/L未満	—	—
	10号取水井	幸町3丁目	5ng/L未満	—	—
	11号取水井	泉水2丁目	5ng/L未満	—	—
	12号取水井	大字溝沼539	5ng/L未満	—	—
	13号取水井	三原1丁目	5ng/L未満	—	—
	14号取水井 ※R7.3新設（供用前検査）	泉水2丁目	5ng/L未満 (※1月31日実施)	—	—

※5ng/L未満は検出限界未満

※令和6年度は年5回実施のうちの最終検査結果（2月実施）のみ掲載

※国の暫定目標値：PFOS・PFOAの合算値で50ng/L以下

暫定目標は、体重50kgの人が水を一生涯にわたって毎日2ℓ飲用したとしても、この濃度以下であれば人の健康に悪影響が生じないものとして国が設定した基準です。

(2) 小排水路水質調査結果 (調査地点はP. 99参照)

項目		単位	No. 101 新河岸川(右岸) 田子山樋管	平均値
採水年月日	—	—	R06.08.22 R07.02.20	—
天候	—	—	曇 晴	—
気温	°C	—	26.5 12.1	—
水温	°C	—	24.4 13.5	—
透視度	cm	—	100以上 100以上	100以上
流量	m³/s	—	0.127 0.014	0.071
生活環境項目	pH DO BOD SS 全亜鉛 ノルフェノール 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/L mg/L mg/L mg/L mg/L mg/L mg/L	7.0 8.1 1.0 1未満 0.028 0.00006未満 0.0026	7.4 8.5 1.6 1未満 0.031 0.00006未満 0.026
BOD負荷量	g/s	—	0.127	0.031
		—		0.079

項目		単位	No. 102 新河岸川(右岸) 宮戸3丁目17番地先	平均値
採水年月日	—	—	R06.08.22 R07.02.20	—
天候	—	—	曇 晴	—
気温	°C	—	28.0 10.6	—
水温	°C	—	26.6 11.5	—
透視度	cm	—	100以上 100以上	100以上
流量	m³/s	—	0.003 0.001	0.002
生活環境項目	pH DO BOD SS 全亜鉛 ノルフェノール 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/L mg/L mg/L mg/L mg/L mg/L mg/L	7.4 6.7 4.8 6 0.035 0.00006未満 0.0041	7.6 8.4 3.7 4 0.026 0.00006未満 0.005
BOD負荷量	g/s	—	0.014	0.003
		—		0.008

項目		単位	No. 110 新河岸川(左岸) 内間木排水機場付近	平均値
採水年月日	—	—	R06.08.22 R07.02.20	—
天候	—	—	曇 晴	—
気温	°C	—	30.0 9.8	—
水温	°C	—	27.5 10.2	—
透視度	cm	—	43.0 26.0	34.5
流量	m³/s	—	0.017 0.007	0.012
生活環境項目	pH DO BOD SS 全亜鉛 ノルフェノール 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/L mg/L mg/L mg/L mg/L mg/L mg/L	7.1 4.7 5.4 10 0.014 0.00006未満 0.14	7.3 6.0 9.2 12 0.017 0.00006未満 0.15
BOD負荷量	g/s	—	0.092	0.091
		—		0.091

項目		単位	No. 201 黒目川(左岸) 新座大橋付近	平均値
採水年月日	—	—	R06.08.22 R07.02.20	—
天候	—	—	曇 晴	—
気温	°C	—	29.0 11.7	—
水温	°C	—	24.9 9.8	—
透視度	cm	—	73.0 72.0	72.5
流量	m³/s	—	0.001未満 0.001未満	0.001未満
生活環境項目	pH DO BOD SS 全亜鉛 ノルフェノール 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/L mg/L mg/L mg/L mg/L mg/L mg/L	7.6 8.1 2.3 1 0.085 0.00006未満 0.0011	7.5 9.0 6.2 2 0.062 0.00006未満 0.0191
BOD負荷量	g/s	—	0.002	0.010
		—		0.006

小排水路水質調査結果 (調査地点はP. 99参照)

		単位	No. 210 黒目川(右岸) 北浦待機宿舎付近	平均値
採水年月日	—		R06.08.22 R07.02.20	—
天候	—	曇	晴	—
気温	°C	30.5	10.2	—
水温	°C	22.9	14.3	—
透視度	cm	100以上	100以上	100以上
流量	m³/s	0.003	0.008	0.006
生 活 環 境 項 目	pH	—	7.7	8.4
	D0	mg/L	8.3	9.2
	BOD	mg/L	1.5	2.2
	SS	mg/L	1未満	1
	全亜鉛	mg/L	0.019	0.017
	ノニルフェノール	mg/L	0.00006未満	0.00006未満
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/L	0.011	0.0083
BOD負荷量		g/s	0.005	0.018
				0.011

項目		単位	No. 214 黒目川(左岸) 泉橋付近	平均値
採水年月日	—		R06.08.22 R07.02.20	—
天候	—	曇	晴	—
気温	°C	30.0	10.9	—
水温	°C	25.6	16.0	—
透視度	cm	100以上	100以上	100以上
流量	m³/s	0.002	0.002	0.002
生 活 環 境 項 目	pH	—	7.0	7.6
	D0	mg/L	6.4	10.0
	BOD	mg/L	1.4	0.6
	SS	mg/L	1	1未満
	全亜鉛	mg/L	0.018	0.013
	ノニルフェノール	mg/L	0.00006未満	0.00006未満
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/L	0.0073	0.0006未満
BOD負荷量		g/s	0.003	0.001
				0.002

項目		単位	No. 313 越戸川(右岸) 谷中川合流点	平均値
採水年月日	—		R06.08.22 R07.02.20	—
天候	—	曇	晴	—
気温	°C	31.5	5.2	—
水温	°C	25.7	10.4	—
透視度	cm	46	100以上	73.0
流量	m³/s	0.089	0.066	0.078
生 活 環 境 項 目	pH	—	8.6	7.7
	D0	mg/L	9.2	11.9
	BOD	mg/L	0.6	0.9
	SS	mg/L	8	3
	全亜鉛	mg/L	0.007	0.009
	ノニルフェノール	mg/L	0.00006未満	0.00006未満
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/L	0.0006未満	0.0008
BOD負荷量		g/s	0.053	0.059
				0.056

3 地下水関係

地下水概況調査結果【井戸水・湧水】

項目	一	地下水1	地下水2	地下水3	地下水4	地下水5
地点番号	一	4	10	12	21	27
採水年月日	年月日	R06.12.10	R06.12.10	R06.12.10	R06.12.10	R06.12.10
天候	一	晴	晴	晴	晴	晴
トリクロロエチレン	mg/L	0.002未満	0.002未満	0.002	0.002未満	0.002未満
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0049
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	-	-	-
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	-	-	-
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	-	-	-
項目	単位	地下水6	地下水7	地下水8	地下水9	地下水10
地点番号	一	35	37	44	51	53
採水年月日	年月日	R06.12.10	R06.12.10	R06.12.10	R06.12.10	R06.12.10
天候	一	晴	晴	晴	晴	晴
トリクロロエチレン	mg/L	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	-	-	-
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	-	-	-
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	-	-	-
項目	単位	地下水11	地下水12	地下水13	わくわく田島緑地(湧水)	総検体数
地点番号	一	56	57	60	⑤	-
採水年月日	年月日	R06.12.10	R06.12.10	R06.12.10	R06.12.10	-
天候	一	晴	晴	晴	晴	-
トリクロロエチレン	mg/L	0.002未満	0.002	0.002未満	0.002未満	14
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0016	14
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	14
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	-	0.01未満	-	-	1
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	0.004未満	-	-	1
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	0.004未満	-	-	1
項目	基準超過数	超過率	検出数	検出率	基準値	
トリクロロエチレン	0	0.0%	2	14.3%	0.01mg/L以下	
テトラクロロエチレン	0	0.0%	2	14.3%	0.01mg/L以下	
1,1,1-トリクロロエタン	0	0.0%	0	0.0%	1 mg/L以下	
1,1-ジクロロエチレン	0	0.0%	0	0.0%	0.1mg/L以下	
シス-1,2-ジクロロエチレン	0	0.0%	0	0.0%	0.04mg/L以下	
トランス-1,2-ジクロロエチレン	0	0.0%	0	0.0%	0.04mg/L以下	

4 魚類関係

魚類調査結果（調査日：令和6年7月17日～18日）

(単位：匹)

種名	調査地点			生活型
	新河岸川	黒目川	越戸川	
	下流	中流	下流	
コイ科	コイ（型不明）	4	3	純淡水魚
	コイ（改良品種型）		1	純淡水魚
	ギンブナ	2		純淡水魚
	フナ属	7	1	純淡水魚
	タイリクバラタナゴ	2		純淡水魚
	オイカワ	3	16	純淡水魚
	カワムツ		9	純淡水魚
	ウグイ	3	15	回遊魚・純淡水魚
	モツゴ	21	4	純淡水魚
	カマツカ	4		純淡水魚
	ニゴイ	10	1	純淡水魚
	スゴモロコ類	1		純淡水魚
ドジョウ科	ヒガシシマドジョウ		13	純淡水魚
ナマズ科	ナマズ		2	純淡水魚
アユ科	アユ		11	回遊魚
ボラ科	ボラ	1	11	汽水・海水魚
カダヤシ科	カダヤシ	2		純淡水魚
メダカ科	ミナミメダカ	2		純淡水魚
スズキ科	スズキ	2	1	汽水・海水魚
ハゼ科	マハゼ	10	3	汽水・海水魚
	アシシロハゼ	5		汽水・海水魚
	ヌマチチブ	10	45	84
	ヨシノボリ属	1		回遊魚
	スミウキゴリ		5	2
	ウキゴリ	1	47	34
ヌマエビ科	カワリヌマエビ属		3	
テナガエビ科	テナガエビ	16	1	
	スジエビ		14	1
アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ		3	
アカガエル科	ウシガエル	1		
ヌマガメ科	ミシシッピアカミミガメ	1		
スッポン科	ニホンスッポン		1	

【調査地点の河川の特徴及び出現種との関係】

【新河岸川下流（旧内間木橋付近）】

調査地点は、両岸はコンクリートで護岸されているが、河床は泥や礫で自然の状態になっている。水深及び流量については、漁具設置場所付近は干溝の影響を受けて大きく変動する。両岸の植生は、一部で水面を覆うように繁茂する陸上植物が生育している。

魚類は、コイ（型不明）、ギンブナ、フナ属、タイリクバラタナゴ、オイカワ、ウグイ、モツゴ、カマツカ、ニゴイ、スゴモロコ類、ボラ、カダヤシ、ミナミメダカ、スズキ、マハゼ、アシシロハゼ、ヌマチチブ、ヨシノボリ属、ウキゴリの19種が確認された。甲殻類は、テナガエビの1種が確認された。両生類は、ウシガエルの1種、爬虫類は、ミシシッピアカミミガメの1種が確認された。

水質は、C類型と生物B類型の基準を満たしており、魚類が問題なく生息できる環境であった。

【黒目川中流（東林橋付近）】

調査地点は両岸の一部はコンクリートで護岸されているが、河床は礫・砂・石で自然の状態になっている。水深の深い場所（淵）、砂礫が堆積して浅くなっている場所（瀬）等の変化に富んでおり、左岸側の河川敷にはワンドを形成している。流量は安定している。両岸の植生は一部で水面を覆うように繁茂し、河床にオオカナダモ等の沈水植物が多く見られ、これらの植物は小型魚類の隠れ家を提供している。

魚類は、コイ（型不明）、オイカワ、カワムツ、ウグイ、モツゴ、ヒガシシマドジョウ、アユ、ボラ、スズキ、マハゼ、ヌマチチブ、スミウキゴリ、ウキゴリの13種が確認された。甲殻類は、カワリヌマエビ属、スジエビ、アメリカザリガニの3種が確認された。爬虫類はニホンスッポンの1種が確認された。今年度もアユが確認された。参考までに、アユの生息環境の水質条件を下記の表に整理した。

水質は、2月にpHが生物B類型の基準を超過したものの、その他はC類型と生物B類型の基準を満たしており、魚類が問題なく生息できる環境であった。

表 アユの生息条件

区分	出現水温・生息水温	流動・底質	食性
卵期	10°C～20°C 23°C以上危険	—	—
稚仔魚期	7°C～25°C	人工採苗地の溶存酸素量 4.3mg/lで一部の仔魚死亡、 2.9mg/lで大部分死亡	降海後主にケンミジンコ類、オタマボヤ、 葉脚類、端脚類、イカ、2枚貝幼生、デトリタス
未成魚	9°C～18°C	流速2m/sec 流速3m/sec 潟上不可能	付着藻類（特に藍藻を好む）
成魚	—	すみつき期：石・岩盤	動物プランクトン 付着藻類

【越戸川下流（東和橋付近）】

調査地点は、両岸の大部分はコンクリートで護岸されているものの、水辺に石等が配置され、河床は砂、礫等で自然の状態になっている。水深は浅く、流量は安定している。また、流速の早い場所や若干ゆっくりした場所があり、変化に富んでいる。両岸の植生は、水面を覆うように繁茂し、河床にはオオカナダモ等の沈水植物が多くみられる。これらの植物は小型魚類の隠れ家を提供している。

魚類は、コイ（改良品種型）、フナ属、モツゴ、ニゴイ、ナマズ、ボラ、マハゼ、ヌマチチブ、スミウキゴリ、ウキゴリの10種が確認された。甲殻類は、テナガエビ、スジエビの2種が確認された。

水質は、C類型と生物B類型の基準を満たしており、魚類が問題なく生息できる環境であった。

【参考】朝霞市黒目川に親しむ会より情報提供

※黒目川に親しむ会：黒目川の改修工事をきっかけに、黒目川を安全で誰もが親しめる川にしようと生まれた会

黒目川中流における水生生物採捕結果（調査期間：令和6年5月～9月）

目名	科名	種名	
ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ	
コイ目	コイ科	コイ	ウグイ
		ギンブナ	モツゴ
		オイカワ	タモロコ
		アブラハヤ	スナゴカマツカ
		マルタ	ニゴイ
		カワムツ	
	ドジョウ科	ドジョウ	ヒガシシマドジョウ
ナマズ目	ナマズ科	ナマズ	
サケ目	アユ科	アユ	
ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ	
スズキ目	スズキ科	スズキ	
	ボラ科	ボラ	
	ドンコ科	ドンコ	
	ケツギョ科	オヤニラミ	
	ハゼ科	スミウキゴリ	ウキゴリ
		マハゼ	クロダハゼ（トウヨシノボリ）
		ヌマチチブ	カワヨシノボリ
		シマヨシノボリ	ムサシノジュズカケハゼ
エビ目	モクズガニ科	モクズガニ	
	テナガエビ科	テナガエビ	スジエビ
	ヌマエビ科	カワリヌマエビ属	
	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	
カメ目	イシガメ科	クサガメ	
	ヌマガメ科	ミシシッピアカミミガメ	
	スッポン科	スッポン	
無尾目	ヒキガエル科	アズマヒキガエル	
	アマガエル科	ウシガエル	
トンボ目	カワトンボ科	ハグロトンボ	
	ヤンマ科	(成虫) ギンヤンマ	
	サナエトンボ科	(成虫) コオニヤンマ	(ヤゴ) ホンサンエ

	ヤマトンボ科	(成虫・ヤゴ) コヤマトンボ
	イトトンボ科	クロイトトンボ (ヤゴ) アジアイトンボ
	トンボ科	(ヤゴ) シオカラトンボ
		(成虫) アキアカネ
		(成虫) ウスバキトンボ
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ
コウチュウ目	ヒラタドロムシ科	ヒラタドロムシ
カメムシ目	タイコウチ科	ミズカマキリ
ニナ目	カワニナ科	カワニナ

5 放射線測定結果

5-1 空間放射線測定

※除染の判断基準は「朝霞市における放射線量基準に関する当面の考え方について」の毎時0.19マイクロシーベルトとしている。

※測定値は、それぞれの高さにおける10秒毎の指示値を5回記録した平均値としています。

※測定場所の高さは、「放射線測定に関するガイドライン（文部科学省）」（1m）及び「学校等における放射線測定の手引き（文部科学省）」（50cm）を基準としています。

(1) 市役所敷地内

(単位：マイクロシーベルト／時)

地上1m 週1回（午前10時）測定

測定場所	測定年度	最大値	平均値
市役所 正面玄関脇 ・バス停	令和6年度	0.071	0.061
	令和5年度	0.071	0.060
	令和4年度	0.067	0.059
	令和3年度	0.085	0.060
	令和2年度	0.073	0.060

(2) 小学校

校庭中央 年1回測定

学 校 名	地表付近	地上50cm
朝霞第一小学校	0.050	0.046
朝霞第二小学校	0.042	0.043
朝霞第三小学校	0.048	0.048
朝霞第四小学校	0.076	0.078
朝霞第五小学校	0.033	0.035
朝霞第六小学校	0.053	0.054
朝霞第七小学校	0.042	0.045
朝霞第八小学校	0.048	0.043
朝霞第九小学校	0.064	0.058
朝霞第十小学校	0.047	0.046

(3) 中学校

校庭中央 年1回測定

学 校 名	地表付近	地上50cm
朝霞第一中学校	0.091	0.079
朝霞第二中学校	0.052	0.046
朝霞第三中学校	0.050	0.044
朝霞第四中学校	0.060	0.056
朝霞第五中学校	0.051	0.051

(4) 保育園

園庭中央 年2回測定

保育園名	最大値		平均値	
	地表付近	地上50cm	地表付近	地上50cm
本町保育園	0.054	0.049	0.053	0.046
根岸台保育園	0.049	0.046	0.047	0.042
北朝霞保育園（本園）	0.051	0.056	0.048	0.052
泉水保育園	0.062	0.054	0.059	0.050

(5) 児童遊園地・都市公園

中央 年2回測定

児童遊園地	最大値		平均値	
	地表付近	地上50cm	地表付近	地上50cm
緑ヶ丘北児童遊園地	0.072	0.073	0.069	0.070
岡向山児童遊園地	0.052	0.049	0.048	0.049
膝折町1丁目児童遊園地	0.058	0.076	0.056	0.064
霞ヶ丘児童遊園地	0.066	0.072	0.063	0.065
新高橋ふれあい広場	0.083	0.081	0.073	0.067
上の原公園	0.048	0.055	0.048	0.051
水久保公園	0.064	0.065	0.063	0.064
やつじ公園	0.060	0.059	0.057	0.058
上野荒川運動公園	0.064	0.051	0.056	0.047
宮戸ハケタ公園	0.070	0.074	0.068	0.071

○宮戸を住みよくする会提供資料より

放射線測定値（砂場）	最大値		平均値	
	地表付近	地上50cm	地表付近	地上50cm
宮戸大山公園	0.055	0.054	0.050	0.047
やつじ公園	0.063	0.056	0.056	0.052
宮戸立出児童遊園地	0.054	0.054	0.049	0.046
宮戸第2児童遊園地	0.052	0.049	0.047	0.047
宮戸児童遊園地	0.050	0.044	0.044	0.042

※宮戸を住みよくする会では、原則毎月11日に宮戸町内の公園10箇所の砂場・滑り台など29地点の放射線測定を自主的に実施しております。このうち、代表的な放射線測定値を掲載します。

(6)市内除染箇所測定 (ホットスポット)
年1回 42施設 87箇所

		公園・道路施設等		
施設名	測定場所 (地表付近)	除染前	除染後 (平成23年12月)	令和6年度
第一小学校	南校舎・理科室前	0.585	0.155	0.065
	南校舎・排水口南側1	1.238	0.136	0.084
	南校舎・排水口南側2	0.380	0.168	0.084
	北校舎裏・物置小屋排水口1	0.548	0.156	0.080
	北校舎裏・物置小屋排水口2	0.371	0.144	0.074
第二小学校	体育館横・排水口（土）	0.447	0.159	0.047
	校舎裏・ふた付側溝内	0.557	0.174	0.076
	南校舎横・排水口	0.194	0.102	0.058
	校舎間スペース	0.629	0.168	0.085
第三小学校	校舎横・側溝内	0.384	0.144	0.087
	昇降口・横	0.204	0.087	0.066
	北校舎東・側溝奥	0.768	0.094	0.075
	北校舎西・側溝奥	0.919	0.118	0.051
第四小学校	鉄棒下	0.218	0.169	0.063
第五小学校	正門（右）	0.284	0.097	0.052
	正門（左）	0.308	0.078	0.062
第六小学校	北玄関・吹き溜まり	0.427	0.092	0.081
第七小学校	プール更衣室・排水口北	0.261	0.116	0.068
	プール更衣室・排水口南	0.466	0.163	0.065
	体育館通路・南	0.331	0.158	0.057
	体育館通路・北	1.056	0.160	0.073
	東門	0.194	0.096	0.053
第八小学校	校舎北側・給食搬入口側溝	0.351	0.109	0.038
第九小学校	正門横・倉庫雨樋排水口（南）	0.537	0.151	0.071
	正門横・倉庫雨樋排水口（北）	1.258	0.119	0.084
	体育倉庫・雨樋排水口（南）	0.365	0.169	0.057
	体育倉庫・雨樋排水口（北）	1.117	0.168	0.072
	防災倉庫雨樋下	0.332	0.101	0.061
第十小学校	給食配膳室入口・駐車場	0.484	0.099	0.071
第一中学校	中庭・排水口	0.190	0.172	0.044
	裏門・入口1	0.203	0.106	0.064
	裏門・入口2	0.241	0.129	0.061
	正門吹き溜まり	0.201	0.097	0.048
第二中学校	生徒玄関前・雨樋排水口	0.198	0.155	0.073
	北側校舎裏・排水口	0.482	0.158	0.050
	新校舎・排水口	0.929	0.161	0.073
第三中学校	体育館・側溝内	0.728	0.118	0.065
	側溝・ふたの上	0.525	0.120	0.078
第四中学校	校舎裏・駐車場	0.213	0.083	0.056
	校舎裏・側溝	0.394	0.169	0.056
第五中学校	体育館北側横・排水口	0.194	0.132	0.052
	体育館通路	0.204	0.068	0.056

5-2 放射性物質測定

(1) 水道水

※年4回（6月、9月、12月、3月）測定

(単位：ベクレル/kg)

測定日	採水場所	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性ヨウ素131
令和6年6月17日				
令和6年9月18日				
令和6年12月12日				
令和7年3月13日	泉州浄水場 岡浄水場	不検出	不検出	不検出

(2) 燃却灰

※月1回測定（令和6年度最終測定の令和7年3月9日のみ掲載）

※焼却灰とは、燃やしたごみの燃えがらで、焼却炉の底から排出される灰

※飛灰とは、ろ過式集じん機などで捕集した排ガスに含まれているダスト（ばいじん）

※放射性ヨウ素の測定については、平成24年4月から国のガイドラインで調査義務の免除を受けた施設となつたため除外している。

(単位：ベクレル/kg)

測定日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性ヨウ素131
令和7年3月9日	焼却灰	不検出	不検出	—
	飛灰	不検出	不検出	—